

年頭にあたって



謹

んで年の初めのお祝い
を申し上げます。皆さま
まには、すがすがしい新春をお
迎えることと心からお喜び申し
上げます。

昨年八月の町長選挙におきま
して、皆さまのご支援をいただ
き、十期目の当選をさせていただ
きましたことに心から厚く御
礼を申し上げます。町政を担当
して以来、「潤いと安らぎのあ
るまち」を目標に、鋭意努力を
続けてまいりました。皆さまの
お力添えに心から感謝申し上げ
ます。

この一年を振り返りますと、
地球温暖化を実感させる年であ

した。今年は特に、TPP（環
太平洋経済連携協定）という大
変不安なことがあります。日本
の農業を守るために、協定の参
加には断固反対していかなけれ
ばなりません。県町村会でも反
対を表明し、国が責任を持って
農業を再生することなどを国に
働きかけるよう県知事に要望し
ております。

昨年は、健康率日本一、日本
一の健康長寿の町を目指し、
「鶴の里健康づくり推進大会」
を開催し、およそ一千六百人の
方々が参加してくださいまし
た。大会では、日本対がん協会
の「ほほえみ大使」を務める歌
手のアグネス・チャンさんを講
師にお迎えし、自らががん克服
体験を披露して、健康の大切さ
を訴えてくださいました。この
大会を契機に、健康づくりを取
り組む決意を新たにしたところ
でございます。

昨年は、長年交流を続け
てまいりました鹿児島県さつま
町と友好交流協定を締結し、さ
つま町の合併五周年をお祝い
し、ねぶた運行をしてまいりま
した。さつま町とは、旧鶴田町
からの長いおつきあいであり、
旧鶴田町が合併した後、五ツ

太鼓や鶴凧などでの交流が続い
ておりました。この交流の根を
絶やさないためにも今回の友好
交流協定を機にさまざまな交流
を拡大していかなければなりま
せん。ねぶた運行では、町民八
十五名の参加の下、鹿児島島の夜
空にねぶた囃子を響かせ、ハネ
トと流し踊りで観客を熱狂の渦
に巻き込み、拍手と大歓声に包
まれながら練り歩いてまいりま
した。沿道には四千人もの人々
が押し寄せ、熱気溢れるねぶた
運行となりました。この感動は、
さつま町の人々に生涯忘れ得ぬ
ものとなったことと確信いたし
ております。

また、昨年夏の青森県民体育
大会では、選手一人ひとりが実
力を存分に発揮され、死闘の末
に五年連続十六回目の総合優勝
を勝ち取ることができました。
競技別でも相撲、バドミントン、
ソフトボール、軟式野球、バス
ケットボールで優勝するなど、
かつてないほどの好成績を残
し、県下にスポーツが強い鶴田
町をとどろかせてくださいまし
た。これは「スポーツに親しみ、
健康で住みよいまちづくり」へ
取り組んできた成果が現れたも
のであり、町体育協会をはじめ

選手の皆さまには深く感謝して
おります。

昨年十二月に新幹線が全線開
業し、青森県は新しい時代を迎
えました。東京と三時間二十分
でつながることで、来町される
方も多くなることが予想されま
す。当町でも観光客の皆さまに
喜んでもらえるよう、環境整備
に努めてまいります。

今後とも、町民の皆さまと
もに知恵を出し合い、安全で安
心して暮らせるよう、小さいな
がらもきらりと光るまちづくりに
向けて、誠心誠意努力してま
いりますので、なお一層のご支
援、ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

結びに、本年も町民の皆さま
にとりまして、健康で幸多い年
でありますよう、心からお祈り
申し上げます、新年のあいさつと
いたします。

平成二十三年 元旦

鶴田町長 中野 撃司

迎春

喜びあふれる町のために



明 けましておめでとうございませう。

町民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平成二十三年の年頭に当たり町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、中国の上海万博で史上最多の七千三百万人を超える入場者数を記録し、チリの落盤事故では奇跡的な救出が感動を呼んだ一方、北朝鮮が韓国に砲撃を加えるなど緊張が高まった一年でありました。

日本においても、尖閣諸島沖で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突し、その撮影ビデオが

流出する騒ぎがありました。ノーベル賞を根岸、鈴木両氏が受賞、さらには小惑星探査機「はやぶさ」が偉業を成し遂げて帰還するなどの良い話題もありました。

青森県では、なんといっても東北新幹線が全線開通し、東京青森間が三時間二十分で繋がることになりました。東北新幹線の「はやぶさ」は今年の三月に運行開始になります。

当町においては、昨年の五月に健診率日本一を目指して事業を展開してきました。県民体育大会においては、五年連続十六回目の優勝の栄誉に輝き、まさにスポーツの町鶴田の面目躍如といった感があります。

また、昨年の十一月に鹿児島県さつま町と友好交流協定を締結し、幾久しく変わらぬ交流を誓い合ったわけでありませう。特にさつま町での夜のねぶた運行には四千人を超える観客で会場や通りを埋め尽くさんばかりでございました。

新幹線では、まだ青森と鹿児島は結ばれておりませんが、一足先に当町とさつま町が結ばれた意義深い一年であったと思えます。

新幹線が青森まで来ても、西北五地域、特に鶴田に効果が及ぶためにはどうすればよいのかさらに検討を重ねていきたいと思えます。良い影響なら、幾らでも受け入れたいものであります。

一方、昨年の猛暑によって米の品質が低下し、農家経済に影響を与えました。農業が中心の当町にとって心が痛む思いであります。米にしろリンゴにしろブドウにしろ豊作でかつ値段が良いのが理想的なのですが、そうなることによつて、農家の方々に笑顔があふれ、喜びの環が広がります。喜びの環がどんなに大きくなり、鶴田全体に、青森県全体に、日本全国に大き

くなつていけたら良いと思えます。喜びあふれる町にしたいと思えます。そのためにも

情熱を持って町政を運営し、

熱気あふれる町にするために

気軽にお声をおかけください。

議会では気軽に声を掛けていただく町民の声を大切にしたいと思つていきます。

地方分権が進む中、今まで経験したことのない大きな改革の時期に遭遇しております。市町村の真価が問われる時代になり、わたしたち議員も何が必要か、的確に判断し、町との十分な意思疎通を図りながら、その責務を果たし、住みよい町づくりのため努力してまいります。そして行政と議会と町民が一体となったまちづくりを進めたいと思えます。

結びに、本年も町民の皆さまが健やかで幸多い年でありませうお祈り申し上げます。議会を代表して、新年のあいさつといたします。

平成二十三年 元旦

鶴田町議会議長 出町 豊